

2007年4月3日

投資家の皆様へ

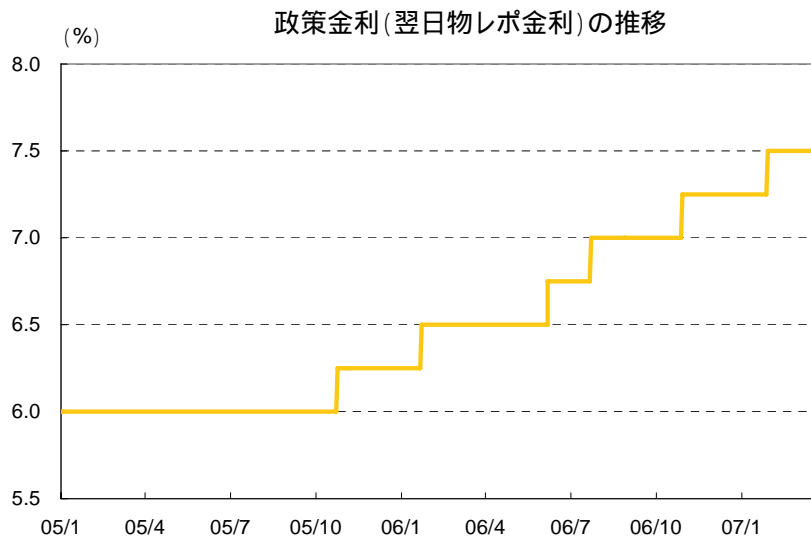
日興アセットマネジメント株式会社

## インド株式相場について

インドの代表的な株価指数である SENSEX30 種は、2月8日に過去最高値となる 14,652 ポイント（終値）をつけた後、同月の追加金融引き締めや同月末にかけての世界同時株安の影響などから3月初めにかけて調整を見せました。その後、概ね 12,500 ポイントから 13,000 ポイントで一進一退を繰り返していますが、4月2日には前週末比 4.7%の急落となりました。

### 株式相場急落の背景

今回の急落の主な背景は、予想外のタイミングで発表された追加金融引き締めです。インドの中央銀行であるインド準備銀行は、3月30日の証券市場の取引終了後、翌日物レポ金利および預金準備率の引き上げ（それぞれ、7.50% 4月中旬より 7.75%、6.0% 6.5%）を発表しました。



（信頼できると判断したデータにもとづき日興アセットマネジメントが作成）

### 経済・物価および政治状況

インド準備銀行は、2005年末から引き締め姿勢をとっていますが、何度か追加引き締めを見送ったことから、昨年は金融政策の立ち遅れを指摘されることもありました。そして、昨年半ば以降、インフレが主要な問題として急浮上すると、インド準備銀行は積極的な追加引き締めでこれに対応し始めました。それでも、足元のインフレ率（インド準備銀行が重視する卸売物価指数の上昇率）は6%超と、インド準備銀行が目標とする水準をおよそ1%上回っている状況です。

当資料は、日興アセットマネジメントが経済、市況他、投資環境に関する情報をお伝えすること等を目的として作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料でも特定ファンドの勧誘資料でもありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成日現在のものです。また、当資料に示す意見は、特に断りのない限り当資料作成日現在の弊社の見解を示すものです。当資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。当資料中のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

インフレは、政府にも圧力を及ぼす問題となっています。これは、選挙シーズンを控え、野党がインフレ問題を現職に対する攻撃材料にする可能性があるからです。こうした中、いくつかの州での重要な選挙が近づいており、政府としてもインフレ抑制を確かなものにしたところと見られます。



(信頼できると判断したデータに基づき日興アセットマネジメントが作成)

#### 今後の見通し

上述のような状況にはあるものの、足元の物価水準からすると、5月中旬にはインフレ率は5%かそれを下回る水準に低下するものと見込まれます。

なお、金利が上昇するほど、景気拡大ペースの鈍化が懸念されます。弊社でも、インドの経済成長率が幾分鈍化するとみていますが、2007年度(2007年4月～2008年3月)のGDP成長率は依然として7.5%を上回るものと見込んでいます。また、インド準備銀行による金融引き締めも終盤とみられ、金利もまもなく落ち着くものと見込まれます。そして、2007年度のインドの企業収益の伸びが15～18%と見込まれ、SENSEX30種の2008年度予想PERがおおよそ16倍であることを考えると、インド株式市場は妥当な水準にあると言えるでしょう。

以上

**Aditya Palwankar**

アディティア・パルワンカー

ポートフォリオマネージャー

日興アセットマネジメント シンガポール リミテッド

当資料は、日興アセットマネジメントが経済、市況他、投資環境に関する情報をお伝えすること等を目的として作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料でも特定ファンドの勧誘資料でもありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成日現在のものです。また、当資料に示す意見は、特に断りのない限り当資料作成日現在の弊社の見解を示すものです。当資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。当資料中のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。